

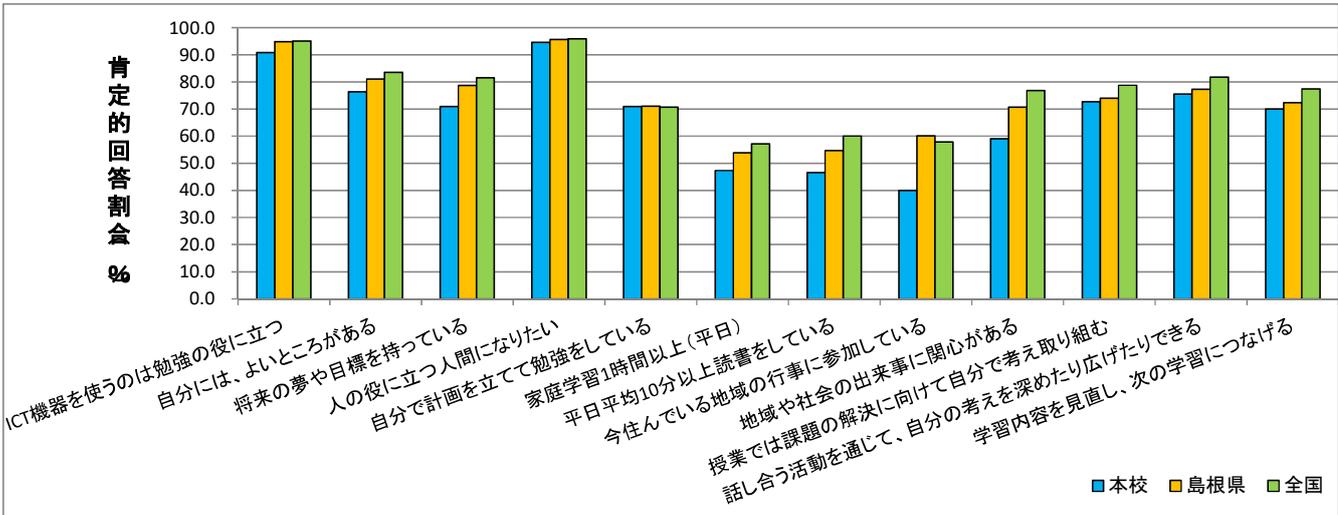
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○「読むこと」に関する問題がよくできていた。 また、以前から課題だった「書くこと」について、自分の考えを書き力がついてきている。 ●グラフや、いくつかのカードに書かれた文章など、複数の資料を用いて、書き表し方を工夫することに課題がみられる。また、漢字の使い方が曖昧な所もある。	・調べ学習のときに、情報カードを利用しながら、たくさんの情報の中から必要なことを取捨選択できる情報処理能力をつけていくようにする。(図書館利用) ・昨年に引き続き、各学年の「書く」単元を丁寧に学習し、低学年から文章の組み立てを意識しながら書いたり読んだりする力をつけていく。
算数	○乗法の計算や、台形の正しい意味や性質を選択する問題については、正答率がよかった。 ●分配法則の正しい使い方や、図形の性質をもとに考えることなど、基礎的な力を活用して考える問題に課題が見られた。また、比例や割合の問題を苦手としている。	・問題文の読み取りが速く正しくできるように、線を引いたり、大事な言葉に印や書き込みをしたりすることを全教科の学習で意識づけていくようにする。 ・既習の知識をもとに思考できるように、問題場面を図式化したり数直線で表したりする活動や、日常の場面に置き換えて考える活動を多く取り入れる。

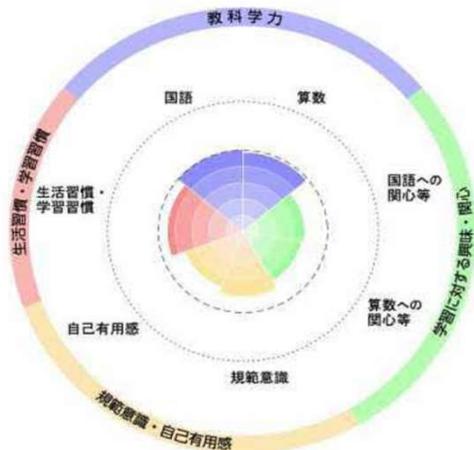
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○自分で計画を立てて勉強することができる。 ●自分と違う意見を生かして自分の考えをまとめたり、学級会等で互いの意見の良さを生かして話し合ったりする経験が乏しく、楽しいと感じている子が少ない。 ●将来の夢や目標を持っている児童の割合が少なく、家庭学習や読書をする時間が少ない。	・校内研究(国語科)に全校で取り組む中で、「他者の意見を聴いて、自分の考えをよりよくしていこうとする」ことができる話合いの経験を低学年のうちから積んでいけるようにする。 ・学習を通していろいろな人と出会う中で、自分の将来について考える時間を作り、目標に向かってがんばろうとする気持ちを育てていく。(キャリア教育の充実) ・宿題の量を調整し、家庭学習の時間の充実に図る。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・各教科、行事、委員会活動などを通して、相手に伝わる声や話し方、また、意図に合った内容で話す力をつけていく。また、聴く側も意図に沿った質問や感想が言えるよう、自分の考えを持ちながら聴く力を育てていく。  
・授業の中で、分かったことなどや考えた理由、説明などを自分の言葉でいう場面を積極的に設ける。

【受検者数】

108 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。